

研究課題	小学校外国語教育の語彙指導における絵カードの有効性——検定教科書の Picture Dictionaries に対する提言——		
氏名 佐藤 選	所属 人文社会科学系 外国語・ 外国文化研究講座 英語科 教育学分野	職名 特任講師（I種）	
APRIN e-ラーニングプログラムの受講 <input checked="" type="checkbox"/> ←受講済の場合はチェックをすること			
<p>【研究成果の概要】（文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度）</p> <p>本研究は、小学校英語教育における絵カード（検定教科書に付属している絵辞書に掲載されているイラスト）の意味伝達力について、①絵カードが動詞の類推に与える影響の調査、および②昨年実施した形容詞の調査結果を併せて再分析を行い、その特徴と課題を明らかにすることを目的とした。小学校英語教育においては、日本語（訳語）を介さずに音・文字・意味を結び付けることが重視され、その手立てとして絵カードや絵辞書が広く活用されている。しかしながら、「絵」が実際にどの程度正確に意味を伝達しているのかについて、体系的な検証が十分に行われていない。本研究では主に、形容詞や動詞の種類、およびそれを表すとされるイラストの違いが意味伝達力に与える影響について検討を行った。</p> <p>①に関してはアンケート調査を実施した。現行の小学校英語教科書のうち、3社の絵辞書の「絵」について、37の動詞あるいは動詞句を表している計111の「絵」を取り上げた。大学生（2校・200名）を協力者とし、それぞれの絵がどのような動詞・動詞句を表しているかを自由記述の形式で回答してもらった。その結果、正答率は全体の65.78%となり、昨年実施した形容詞に関する調査と比較して20%以上高い正答率となった。単語別に見ると、約半数の動詞・動詞句が80%を超える正答率となっている一方で、過去形の正答率はいずれも0%に近く、二極化の傾向が示された。Shannonのエントロピーを用いて項目別の検討を行った結果、正答率が低い表現について、イラスト化するのが難しい概念であるenjoyed型や、正答以外の表現との描き分けが難しいdo my homework型などに類型化された。正答率が高い表現においても、「絵」によって正答率が大きく異なる場合があることも明らかとなった。</p> <p>②に関しては、全体としては動詞の正答率が高く、形容詞の正答率が低い傾向が示された。形容詞では、誤った語を連想する回答者が多く存在する表現が認められ、動詞ではそのような傾向は認められなかった。特に、wonderfulやgreatなど、ポジティブな評価形容詞の正答率が低い傾向が見られた。また、多くの回答者が同一の誤りをしたイラストは動詞でのみ認められ、形容詞では認められなかった。例えば、do my homeworkはstudyの、ateはeatやfinishの誤答が多かった。</p> <p>以上の結果から、絵カードの意味伝達力は語・表現の種類やイラストの質に大きく依存しており、特に形容詞は動詞に比べて絵による意味提示が難しいことが示唆される。ポジティブな評価形容詞は特に「絵」のみを用いてその意味を児童に伝えることは難しく、「絵」以外での手法を用いた語彙導入や練習の必要性が高いと考えられる。動詞に関しても、enjoyed型に分類される表現については、同様の指摘が可能である。また、do my homework型に分類される表現については、「絵」による意味伝達可能性は低くない一方で、意図した表現を伝達するためにはイラスト化に留意が必要であると考えられる。</p> <p>本研究は、絵辞書という形式で語彙・表現集を付属することが基本となりつつある現行の小学校英語教科書の改訂に対し、「絵」の一辺倒による語彙の意味提示を再検討する必要性を示唆するものである。日本語（訳語）との一対一対応の暗記とならない活動と、意味を適切に理解できない語彙提示とならないような教授法の橋渡しとなる教材作成に向けて、更なる検討が求められる。</p>			
<p>【研究成果発表方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小学校外国語科検定教科書付属絵辞書の動詞イラストの意味伝達力の検討—大学生を対象とした単語想起課題の結果から」、内野駿介・佐藤選、第54回中部地区英語教育学会山梨大会自由研究発表（2025年6月21日、於：山梨大学） ・「小学校外国語科検定教科書付属絵辞書のイラストは適切に意味を伝達しているか？—動詞・形容詞調査の正答率と解答のばらつきの検討」、佐藤選・内野駿介、北海道英語教育学会第26回研究大会自由研究発表（2025年10月5日、於：北海学園大学） ・「小学校外国語科検定教科書付属絵辞書のイラストは適切に意味を伝達しているか—形容詞・動詞調査の正答率と解答のばらつきの検討—」、内野駿介・佐藤選、関東甲信越英語教育学会誌40号（採択済、印刷中） 			

※発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入すること。

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。